

# 川崎市議会議員 いわくまちひろ 高津区の投票率

民主みらい  
川崎市議団  
連載No.85

参議院選挙が終了しました。かねてより、高津区の低投票率について警鐘を鳴らしています。

今回の参議院選挙の投票率については、全国54.7%、川崎市55.83%、高津区54.39%となっており、市内7区中6位でした。近年の動向を調査すると、高津区と川崎区が常に最下位争いをしている状況です。

区内投票所別では、投票率トップ3は、梶ヶ谷小学校(47.98%)、下作延小学校(46.39%)、東高津老人い



川崎市議会議員  
いわくまちひろ

この家(45.92%)となっており、ワースト3は、久末小学校(32.41%)、新作小学校(34.35%)、橘小学校(36.57%)でした。また、期日前投票者は、2万4215人です。

高津区総有権者数18万5371人中、**投票に行かれた方は、10万820人**(不在・期日前・在外投票者数含む)、**投票に行かれていない方は、8万4551人**です。

今回の参議院選挙より18歳選挙権が初めて適用されました。速報値では、18歳の投票率が51.17%、19歳の投票率が39.66%、18歳と19歳を合わせた投票率は45.45%で、全体(54.7%)と比べて9.25ポイント下回りました。

とりわけ、19歳の投票率が低い理由

については、大学進学などで地元を離れながらも、住民票を移さず投票に行かない人がいるとの指摘や、主権者教育などを十分受けていないまま社会に出て働いている人が行かなかったのではないかとこのことが推測されます。

長年、市議会でも投票率の改善については取り上げるとともに、大人から子どもまであらゆる層への「**主権者教育の充実**」に取り組んでいます。学校で、政治制度を学ぶだけでなく、政治生活と捉え、口頭から政治に対する関心を保ち、投票の重要性を認識するなど、一過性の主権者教育ではなく、継続的な教育が必要となります。

無関心では、私たちの国や街は良くなりません。選挙・投票に行ってください。ことから、まちづくりの参画をお願いします。

参議院選挙(平成28年7月)	54.39%	6位/7区中
市議会議員選挙(平成27年4月)	39.10%	最下位
衆議院議員選挙(平成26年12月)	52.33%	6位/7区中
川崎市長選挙(平成25年10月)	30.67%	最下位

【高津区の投票率】